

### 精神障がいを正しく理解 菊陽町精神保健福祉の集い

菊陽町精神保健福祉の集いを2月5日、菊陽杉並木公園管理センターで行い、約60人が参加しました。障がい者支援事業所利用者の体験談発表の他、県精神保健福祉センターの矢田部裕介さんが講演。矢田部さんは物事の捉え方やコミュニケーション方法を見直すことが精神疾患の予防につながることを話しました。参加者は「身近な話だと分かり、初めて聞くことばかりで参考になった」と理解を深めていました。



▲「考え方でストレスの量が変わる」と話す矢田部裕介さん

### 雨の日は心に「ゆるや傘」 KDSが「ゆるや傘」を新1年生に寄贈

KDS(菊池自動車学校・熊本ドライビングスクール)が3月3日、KDSゆるや傘キッズバージョンをこの春入学する新1年生に寄贈しました。雨の日は速度を落とすとしてゆるやかに運転しようという思いが込められたゆるや傘。雨天時は晴天時より5倍の交通事故が起きるといわれています。永田佳子代表取締役は「ゆるや傘を見かけたら雨天時の視界の悪さを再認識し、安全運転を心掛けてほしい」と話しました。



▲ゆるや傘を寄贈したKDSの永田佳子代表取締役(左)

### 人材育成や産業支援で連携 熊本県立技術短期大学校と包括連携協定を締結

町と熊本県立技術短期大学校は3月9日、包括連携協定を締結しました。同校は本町のセミコンテクノパーク内に立地していて、小学校での体験学習やさまざまなみフェスタなどで連携してきました。今後は人材育成や教育・文化の振興、産業振興分野で互いに協力し、地域の活性化に取り組みます。後藤三雄町長は「情報技術社会に対応できる人材育成などさまざまな面で連携を深めていきたい」と期待を込めました。



▲「地域に貢献する人材を育てたい」と話す里中忍校長(左)

### 待望の公民館 町内2つの地区に公民館が完成

駅前区公民館の落成式が3月13日、同公民館で行われ、多くの区民が公民館の完成を祝いました。赤塚茂則区長は「皆さんのおかげで無事に落成の日を迎えることができました。今後はこの公民館を区の発展のために活用していきたい」と話しました。平成27年度は、にじの森自治会と駅前区に新たな公民館が完成しました。今後、公民館が地域活動の拠点として活用され、地域づくりが一層進展することが期待されます。



▲駅前区公民館落成式で祝いの言葉を話す赤塚茂則区長

### 生活習慣病を早期に予防 ヘルスアップセミナー修了式

昨年8月から5回シリーズで実施しているヘルスアップセミナーの修了式を2月19日、中央公民館で行いました。このセミナーは高血圧、脂質異常症、糖尿病などの生活習慣病を早期に予防することを目的に毎年開催しています。平成27年度は、町の特定健診を受診し、血圧や中性脂肪、血糖値などが気になり出した6人が参加しました。

セミナーでは、町の保健師と管理栄養士が健診結果の見方を説明し、食事バランスや食事の適量の講話をします。その他、調理実習や運動指導



昨年8月から5回シリーズで実施しているヘルスアップセミナーの修了式を2月19日、中央公民館で行いました。このセミナーは高血圧、脂質異常症、糖尿病などの生活習慣病を早期に予防することを目的に毎年開催しています。平成27年度は、町の特定健診を受診し、血圧や中性脂肪、血糖値などが気になり出した6人が参加しました。



1 セミナー修了式で笑顔を見せる参加者 2 味付けや食事を体感する調理実習 3 有酸素運動やボールを使う運動など普段できない運動の指導を受ける参加者

### 防災意識の向上を図る

### 菊陽町総合防災訓練を開催

町は2月21日、光の森町民センターなどで総合防災訓練を実施しました。

この訓練は災害時の避難行動訓練や救急法訓練などを行い、住民の防災意識の向上が目的です。当日は、光の森地域の住民や陸上自衛隊、菊池広域連合消防本部、大津警察署、町社会福祉協議会など総勢600人が参加しました。

午前9時、地震発生を想定したサイレン放送を合図に、参加者は自宅から公園などの一時避難所に避難。自治会長が安否を確認した後、消防



団員の誘導で広域避難所の光の森町民センターに集まりました。避難完了後、参加者はAEDを使った救急法、簡易担架作成、土のう作りなどの体験型訓練や車両、防災関係用品の展示型訓練などに参加しました。

1 自宅から一時避難所の公園へ避難し、自治会長から安否確認を受ける町民 2 はしご車体験搭乗をする参加者 3 県防災ヘリ「ひばり」による救出・救助訓練



## くまモンだーいすき！

### 白鈴園「くまモン誕生会」

3月12日の誕生日を前に、くまモン誕生会が3月7日、白鈴園で行われました。くまモンが登場すると、園児125人は大喜び。一緒にくまモン体操を踊って汗を流しました。その後、手作りのカラフルなイラストや手紙、色紙で作られた花を子どもたちが贈ると、くまモンは深々とおじぎをしたり子どもたちを抱きしめたりしていました。たくさんくまモンと触れ合った園児たちは「とてもかわかった。みんなでお誕生日をお祝いできてうれしい」とはにかみました。



▲「誕生日おめでとう」とくまモンを祝う園児

## 夢に向かって半歩先へ

### 久保田和真選手が母校の菊陽中学校で講演

ことしの箱根駅伝大会で第1区を走り、青山学院大学を優勝に導いた久保田和真選手が2月29日、母校の菊陽中学校を訪れました。同校1年生が作った久保田選手の巨大なモザイクアートが飾られる中、全校生徒約500人を前に「夢に向かって」と題して講演。久保田選手は「悔しさや夢があったから頑張れた。夢は東京オリンピックに出ること。夢の大小は関係なく、皆さんもなりたい自分になれるように、できる範囲の少し先を見据えて頑張ってください」とエールを送りました。

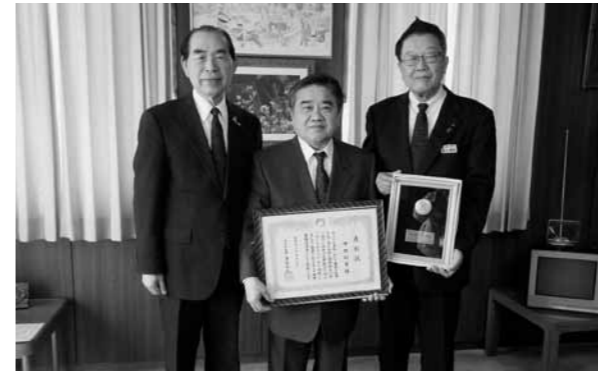


▲「仲間と頑張れば夢はかなう」と話す久保田和真選手

## 住みよい環境を守る

### 平成27年度熊本県環境整備功労者知事表彰

平成27年度熊本県環境整備功労者表彰式が2月8日、熊本県庁で行われ、中野利男さん(新町)が表彰されました。中野さんは長年浄化槽業界に携わり、浄化槽の保守点検や清掃、関連制度の周知啓発、業界の指導育成などを実施。住民の生活環境の保全に長年貢献してきたことを称え、表彰されました。中野さんは「町民の皆さんの快適な生活環境を保ちたいという思いでやってきました。さらに住みよい環境になるようこれからも頑張ります」と目を輝かせました。



▲表彰状を手に笑顔を見せる中野利男さん(中央)

## 上質なお菓子で笑顔を広げたい

### かしの季「肥後もっこすのうまかもん」で金賞

かしの季(光の森)のチーズケーキ「肥後・フロマージュ」が12月7日、肥後もっこすのうまかもんお菓子部門で金賞を受賞しました。同賞は昨年のくまもと物産フェアで500人が試食し人気投票で決定。坂田眞佐子代表取締役は「安全安心で上質なお菓子を作って町中に笑顔を広げたい。チーズケーキはできるだけ熊本県産にこだわり、ふわふわとした食感で県民の大好きなチーズを表現して濃厚なチーズで豊かさを強調しました。ぜひ一度食べに来てください」とほほ笑みしました。



▲「おいしいという声が喜び」と話す坂田眞佐子さん

## たくさんの思い出を胸に

### 町立・私立保育園の卒園式

町立・私立保育園計15園の卒園式が3月19日・26日に各園で行われ、保護者や先生などが見守る中、園児280人は思い出の詰まった園舎を巣立ちました。

もみじ園の卒園式は19日に開催。卒園児13人は弓削恭子園長から卒園証書を手渡された後、堂々とメッセージと歌を披露しました。6年間通園した吉岡拓真さんの母・裕子さんは「初めは朝の送り迎えで泣いていたのに頼もしくなってきた。小学校でも伸び伸び育ち、優しい子になってほしい」と目を細めました。



▲弓削恭子もみじ園長から卒園証書を受け取る園児

## 地域を美しい環境に

### シルバー人材センター会員が清掃活動

菊陽町シルバー人材センター会員と職員、約100人が3月5日、役場周辺道路などで清掃活動を行いました。これはシルバー事業の社会的意義を宣伝・周知することで菊陽町の発展に貢献したいという目的で、毎年2回の活動をするものです。

ことしは公共施設周辺道路と小中学校通学路のごみ拾いや清掃を行い、道路がきれいになりました。参加した会員は「地域の美しい環境づくりに役に立ててうれしい。次回もぜひ参加したいです」と話していました。



▲役場周辺道路のごみ拾いや雑草を取るシルバー人材センター会員

## 安全安心な葉タバコを作る

### 上村貴彦さんが県知事賞受賞

平成27年度熊本県葉たばこ共進会表彰式が2月23日、ホテル熊本ニュースカイ(熊本市)で開かれました。これは熊本県たばこ耕作組合が主催。県内564人の葉タバコ生産者の中から、上村貴彦さん(馬場楠)が県知事賞を受賞しました。上村さんは「天候にも恵まれ、地域の皆さんの支えのおかげで受賞できました。年々変わる環境に対応しながら、これからも高品質な葉タバコ作りを頑張りたい。今後も日々努力し、安全安心な葉タバコをお届けします」と意欲を見せました。



▲「皆さんに感謝しています」と話す上村貴彦さん

## わくわく！初めてのスキー

### 冬だ！雪だ！スキーへ行こう！

町主催講座「冬だ！雪だ！スキーへ行こう！」が2月11日、九重森林公園スキー場で行われました。今回が初めてのスキー講座に小学3年生以上の児童とその保護者31人が参加しました。参加者は初め思うように滑れず何度も転んでいましたが、熊本県スキー連盟の指導者からレッスンを受け、午後からは1人で滑れるくらい上手になりました。参加者は「スキー教室が分かりやすかった。スキーも楽しく、何より友達もでき、協力し合えたことが良かった」と笑顔でした。



▲「スキーを楽しみ友達もできた」と笑顔を見せる参加者